

PQCPAシリーズ

取扱説明書

《安全にご使用いただくために》

ご使用いただく上で間違った取扱を行いますと、商品の性能が十分達成できなかったり、大きな事故につながる場合があります。事故発生がないようにするためにも必ずこの取扱説明書を熟読し、内容を十分理解の上、取り扱って下さい。

尚、不明な点がございましたら、弊社へお問い合わせください。

TAIYO

このたびは、弊社の「PQCPAシリーズ」をお選びくださいます、誠にありがとうございます。

ご使用いただく上で間違った取扱を行いますと、商品の性能が十分達成できなかったり、大きな事故につながる場合もあります。事故発生がないようにするためにも必ずこの取扱説明書を熟読し、内容を十分理解の上、取り扱って下さい。

尚、不明な点がございましたら、弊社へお問い合わせください。

● 一般的な注意事項

- ・当該製品は、一般産業機械部品として、設計、製造されたものです。よって、十分な知識と経験を持った人が取り扱って下さい。
- ・始業または操作時には、当製品の機能及び性能が正常に動作していることを確認してからご使用ください。
- ・当製品が万一故障した場合、他の損害を防止するための十分な安全対策を施してご使用ください。
- ・仕様に示された規格以外での使用、または改造された製品については、機能及び性能の保証はできかねますのでご留意ください。
- ・当製品を他の機器と組み合わせてご使用になる場合、使用条件、環境などにより、機能及び性能が満足できない場合がありますので、十分ご検討のうえご使用ください。
- ・下記の条件や環境で使用する場合は、安全対策へのご配慮を戴くとともに、弊社にご連絡くださいますようお願い致します。
 - 明記されている仕様以外の条件や環境、屋外での使用。
 - 公共の安全に係わる用途。
(例：原子力、鉄道、航空、車両、医療機器、娯楽機器、
緊急遮断回路、ブレーキ回路、飲料食品に触れる機器等)
 - 安全機器などへの使用。
 - 特に安全が要求される用途への使用。

《安全にご使用いただくために》

1. はじめに

商品をご使用する上で間違った取扱を行いますと、商品の性能が十分達成できなかったり、大きな事故につながったりします。商品を末永く、安全にご使用いただくために、取扱説明書に従った正しい使い方をしてください。

また、この取扱説明書は商品をご使用する上で重要な書類ですので、大切に保管してください。

指示事項は危険度、傷害度により「危険」「警告」「注意」「お願い」に区分けしています。



危険

それを守らないと、確実に重大なけがや生命の危険に繋がる事柄を指します。守らないと、間違いなく事故が発生し、その結果、重傷（体の一部を失うようなけが）または生命の危険に繋がる場合に適用されます。



警告

それを守らないと、重大なけがや生命の危険に繋がる事柄を指します。守らないと、事故が起こる場合が想定され、その結果、重傷（体の一部を失うようなけが）または生命の危険に繋がる場合に適用されます。



注意

それを守らないと、軽度の障害を受ける可能性のある事柄を指します。軽傷（切り傷や打ち身など）を指します。また、物損も「注意」レベルとして扱われます。



お願い

当該製品を適切に使用するために守っていただきたい内容です。

2. 安全にご使用いただくために

2-1 ご使用前に

2-1-1 安全確保のために

据付け・運転・保守・点検の前には、必ずこの説明書とその他の付属書類をすべて熟読してからご使用ください。

2-1-2 危険防止のために

この説明書では、いずれも重要な内容を記載しておりますので必ずお守りくださるようお願いいたします。

2-1-3 免責事項

この取扱説明書に従った正しい使い方をしてください。記載事項を厳守しなかったり不当な使い方をしますと、商品を破損したり周りの機械の破損、人身事故につながることもあります。この場合の損害等についての責任は負いかねます。

2-2 取扱上の注意

本製品は、一般環境での使用を前提に設計されております。防爆仕様ではありませんので、可燃性・爆発性ガス等の爆発の危険性がある場所で使用しないでください。

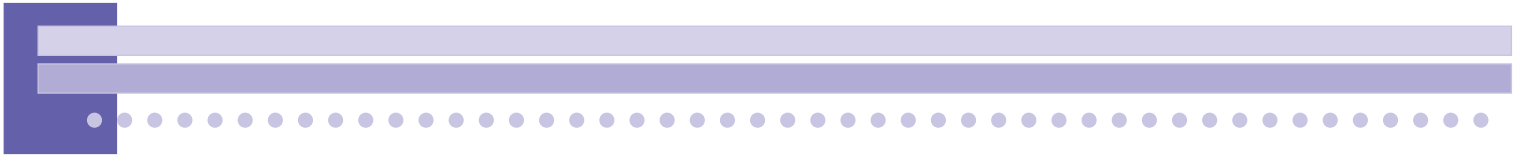
- (1) 内部には手を触れないでください。感電または、けがの恐れがあります。
- (2) アース線は、必ず接地してください。感電の恐れがあります。
- (3) 移動・配線・保守・点検作業を行う際は必ず電源を切り、作業を行ってください。
- (4) 水のかかる場所や可燃物の傍では絶対に使用しないでください。火災・故障の原因となります。
- (5) 信号線は他の動力線と同一配線内に配線しないでください。動力線からの誘導電流で誤動作を起こすことがあります。
動力線と別系統で配線してください。
- (6) 非常停止時の挙動を考慮して下さい。人が非常停止をかけたり、停電などのシステム異常時に安全装置が働き、機械が停止する場合は、この装置の動きによって人体及び機器、他の装置の損傷が起こらない設計をして下さい。



注意

● 下記の場所を避けて設置してください

- ・直射日光の当たる場所、周囲温度が0～50℃の範囲を越える場所
- ・温度変化が急激で結露するような場所
- ・腐食性ガスや可燃性ガスのある場所
- ・直接振動や衝撃が伝わるような場所・水、油、薬品などの飛沫がある場所
- ・ノイズの影響を受けやすい場所

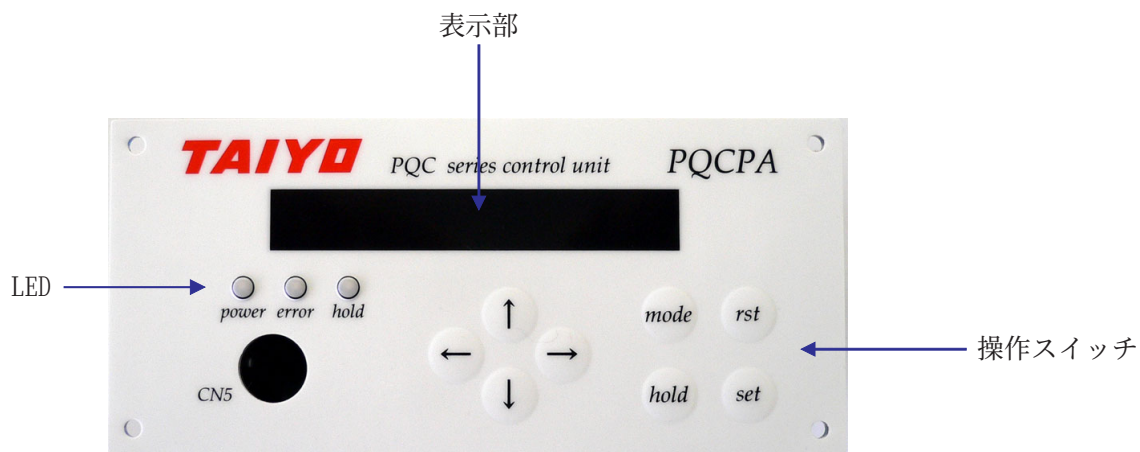


目次

1. 各部名称	6
1-1. フロントパネル	6
1-2. 接続部詳細	6
1-3. 外形寸法	7
2. 配線	8
2-1. 入出力回路	8
2-1-1. 入力回路	8
2-1-2. 出力回路	8
2-2. 電源コネクタ CN1	9
2-3. I/O 接続コネクタ CN4	9
2-4. センサ接続コネクタ CN2	10
2-4-1. リニアポテンシオメータ搭載機種	10
2-4-2. アナログ測長センサ搭載機種	11
2-5. モーター信号コネクタ CN3	11
3. 設定モード（アナログ電圧電流タイプ）	12
3-1. 初期設定	12
3-2. スケール値設定	13
4. 設定モード（ポテンシタイプ）	14
4-1. 初期設定	14
4-2. プリスケール値設定	16
5. 多点機能	17
5-1. パンク	18
5-1-1. パンク切換	18
5-2. 多点値設定	19
5-3. チャタリング防止動作	20
6. 仕様、その他	21
6-1. 仕様	21
6-2. 最低入力時間	21
6-3. 適合コネクタ	21
6-4. 正しくお使いください	22
6-5. 保証とアフターサービス	23
7. 異常と対策	24

1. 各部名称

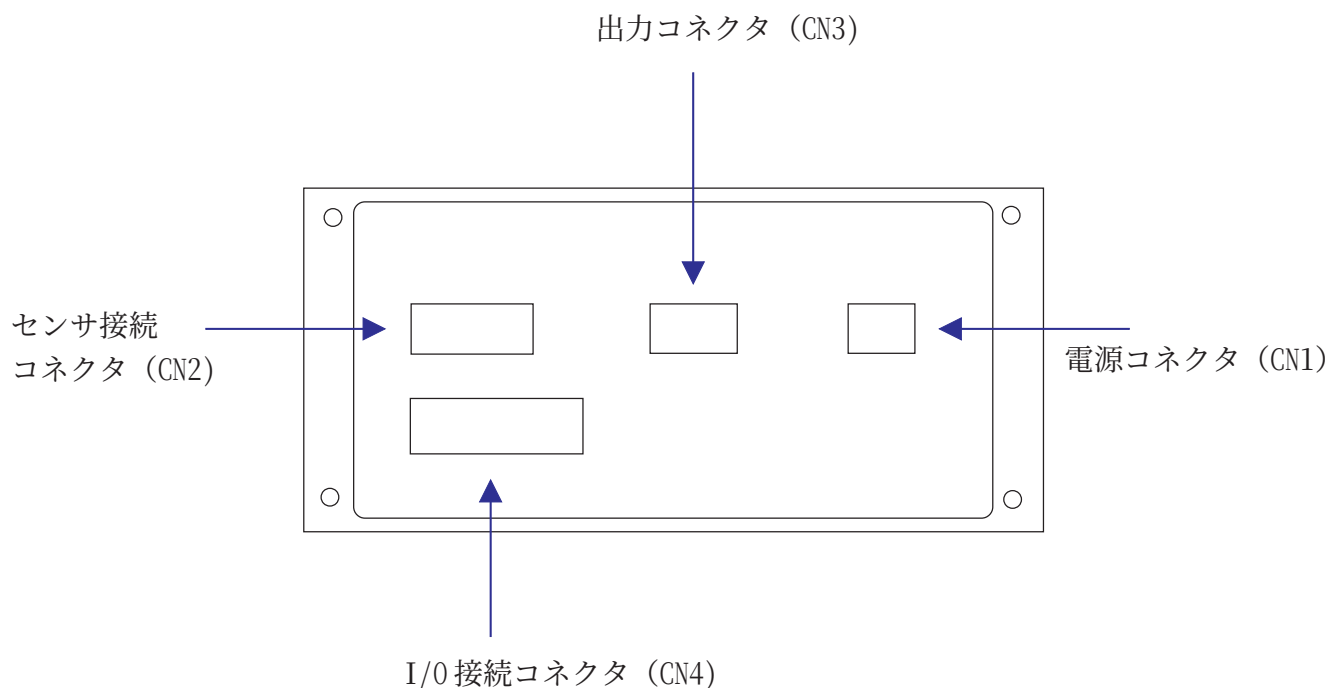
1-1. フロントパネル



power (緑) : 電源投入で点滅しています。点灯か消灯になった場合 CPU 異常です。
error (赤) : 異常時点灯します。
hold (緑) : 表示値をホールド中に点灯します。

⚠ 注意 ・フロント部はシートになっています。テープなどの粘着性のあるものを貼ったり、シンナーなどの強い薬品で拭いたりしないでください。

1-2. 接続部詳細

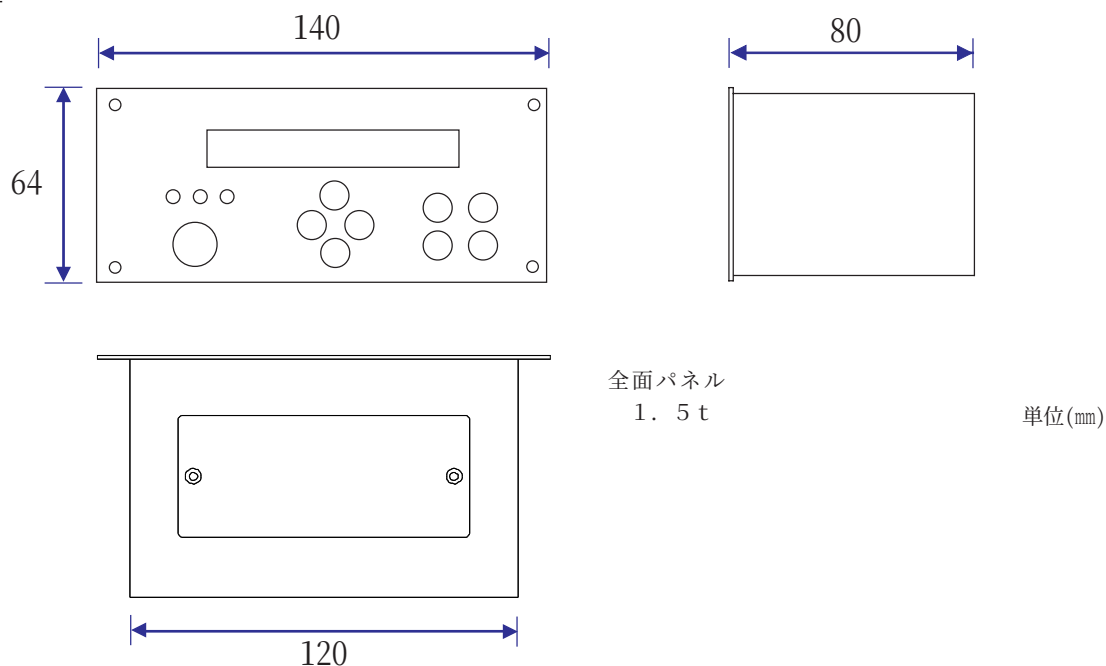


備考) コネクタは P12 5-3. 適合コネクタ 参照の事。

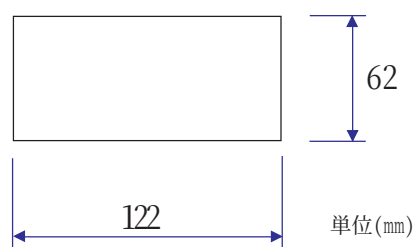
⚠ 注意 ・電源電圧は DC24V です。それ以外は接続しないで下さい。

1-3. 外形寸法

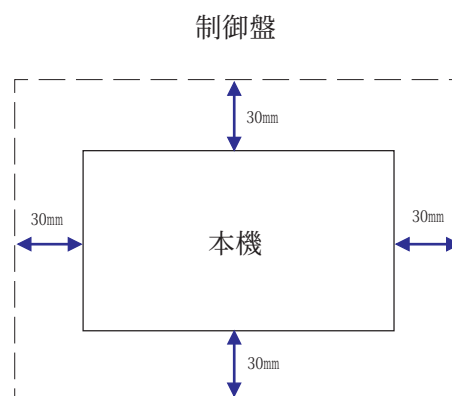
外形図



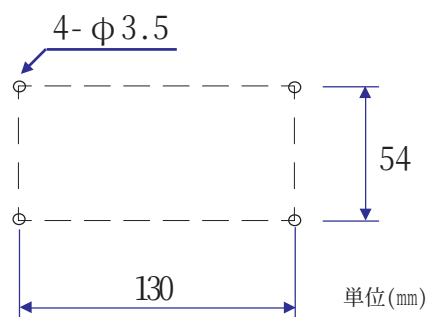
ハ°ネカット寸法



取付間隔



取付穴寸法



本機と制御盤内面またはその他の機器との間隔は、上下左右共30mm以上距離を開けて設置して下さい。また、2台以上設置する場合も30mm以上離して設置して下さい。

⚠ 注意

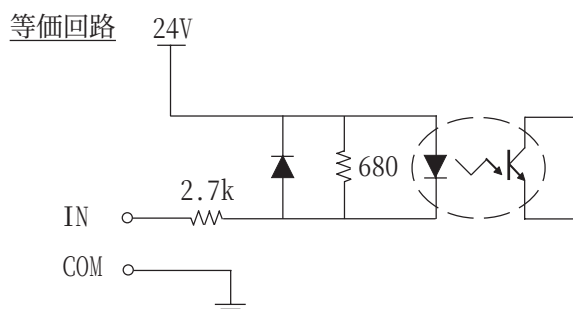
- ・据付は重量に耐えうる所に取り付けてください。
- ・指定した環境条件の範囲内で使用してください。
- ・内部に糸・金属片などの導電性異物や油などの可燃性異物が混入しないようにしてください。
- ・精密機器なので、落下させたり、強い衝撃を与えないようにしてください。

2. 配線

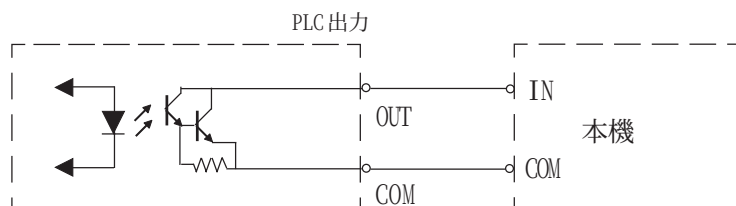
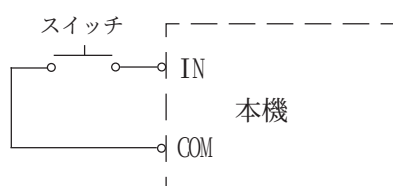
2-1. 入出力回路

2-1-1. 入力回路

項目	仕様
入力電圧	DC24V
動作電流	定格 4.3mA at DC24V
	ON 3mA MIN
	OFF 1mA MAX
絶縁	フォトカプラ



接続例



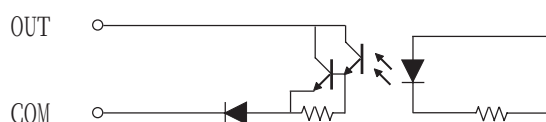
⚠ 注意 / お願い

入力端子・コン間には、無電圧接点（リレーなど）か、オープンコレクタを入力してください。
 入力回路は内部電源仕様となっており、スイッチを接続時はCOMにはコン側を接続してください。オープンコレクタを接続時はCOMにはエミッタ側を接続してください（エミッタ側が外部 DC 電源の 0V に接続されている場合、その 0V に COM を接続してください、+ 電源側に接続すると故障します。）

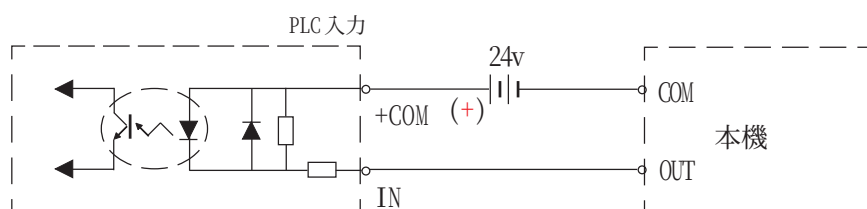
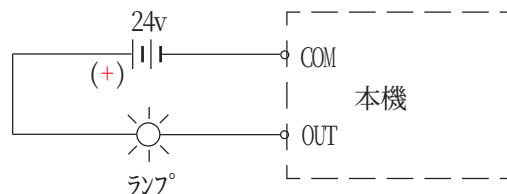
2-1-2. 出力回路

項目	仕様
開閉電圧	DC24V
開閉電流	定格 30mA MAX at DC24V
残留電圧	ON 1.3V MAX at DC24V
漏れ電流	OFF 100 μ A MAX
絶縁	フォトカプラ

等価回路



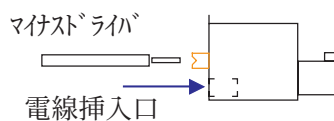
接続例



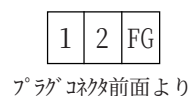
⚠ 注意 / お願い オープンコレクタ出力で、出力端子－出力コン(OCOM)間の最大印可電圧は 50V、50mA です。
 出力コンは外部 DC 電源の 0V に接続下さい。+ 電源側に接続すると故障します。

2-2. 電源コネクタ CN4

端子番号	記号	機能
1	P24	24v
2	N24	0v
3	FG	フレームグラウンド (D接地用端子)



プラグコネクタ外形図



プラグコネクタ配列

- ・供給電源の電圧はDC24v $\pm$ 10% 1A MAX
- ・本機のCN2コネクタからプラグコネクタを抜き、プラグコネクタ側に電源線を入れて使用します。柿色部分をマイクストライプで押せばスプリング式接続なので、電線挿入可能で解放すれば圧接固定されます。

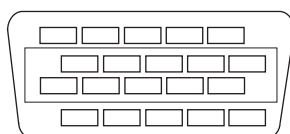
⚠ 警告

- ・電源接続は間違いないように接続して下さい。誤接続は、火災などの重大な危険を招く恐れがあります。本機には電源スイッチはありません。必ず、機械装置全体として適当な給電遮断（絶縁）装置を設けて下さい。電源は、一次側と二次側が強化絶縁された電源を使用して下さい。
- ・本機に配線作業を行う前には、必ず機械装置全体の給電をOFFして下さい。感電の恐れがあります。

2-3. I/O 接続コネクタ CN3

プラグコネクタ配列

プラグコネクタ後面、線ハンダ付け側より



10, 8, 6, 4, 2
9, 7, 5, 3, 1
20, 18, 16, 14, 12
19, 17, 15, 13, 11

端子番号	I/O	内容	備考
1	IN	0セット設定信号	
2	IN	位置デタホルト	
3	IN	補正機能	外部補正機能入力
4	IN	パソク切換 0	パソク切換参照
5	IN	パソク切換 1	
6	IN	パソク切換 2	
7	—	未使用	
8	—	未使用	
9	IN	入力コモン	
10	IN	入力コモン	
11	OUT	多点出力信号 0	
12	OUT	多点出力信号 1	
13	OUT	多点出力信号 2	
14	OUT	多点出力信号 3	
15	OUT	多点出力信号 4	
16	—	未使用	
17	—	未使用	
18	—	未使用	
19	OUT	出力コモン	
20	OUT	出力コモン	

○0セット設定信号

0セットは、現在値を強制的にゼロにシフトさせる機能です。基準値に対する偏差を表示させたり、偏差により比較判定した場合などに使用します。電源を切った場合補正値は無くなります。最低入力時間は100msec以上としてください。

○位置デタホルト

表示値を、ONしている間ホルドします。異常が発生したときの状態を保持したいときなどに使用できます。外部モーター出力は、ホルドしません。

○補正機能

設定した値からカウントを開始します。また、有効条件により変わります。(パルス入力タイプ)パルス入力のみ使用可能です。

○パソク切換0～2

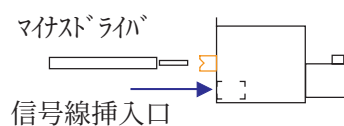
多点設定値を3種類の登録が可能で、装置の段取替など、即座にパソク切替できます。

○多点出力信号0～4

設定した上下限值に入れば信号を出力します。

2-4. センサ接続コネクタ CN1

ピン番号	内容	種類
1	電圧・電流入力	アナログ入力
2	-	-
3	電圧・電流GND	アナログ入力
4	A相	パルス入力
5	-A相	パルス入力
6	B相	パルス入力
7	-B相	パルス入力
8	+24V	電源出力
9	+12V	電源出力
10	GND	電源・AB相GND



プラグコネクタ外形図

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

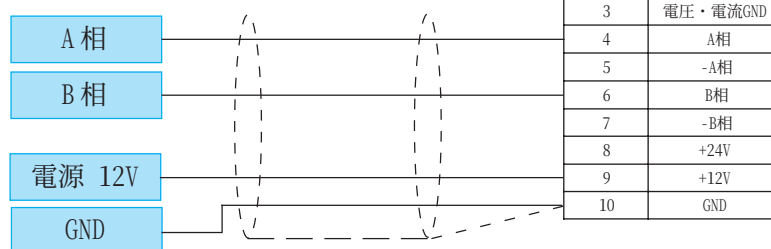
プラグコネクタ前面より

プラグコネクタ配列

- ・本機のCN1コネクタからプラグコネクタを抜き、プラグコネクタ側に信号線を入れて使
用します。柿色部分をマウスドライバーで押せばスプリング式接続の為、電線挿
入可能で解放すれば圧接固定されます。

2-4-1. リニアハルスエンコーダ 搭載機種

エンコーダ 供給電圧 DC12V
DC12V AB 相出力または NPNオープンコレクタ AB 相出力
タイプ 接続方法

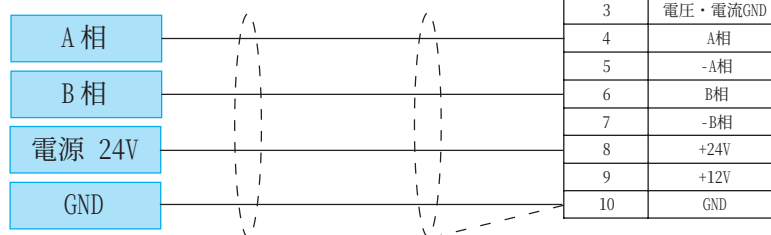


1	電圧・電流入力
2	-
3	電圧・電流GND
4	A相
5	-A相
6	B相
7	-B相
8	+24V
9	+12V
10	GND

弊社シリタ 35P-3,70/140P-8 コネクタ接続方法

コネクタ番号	
1	+12V
2	GND
3	A相
4	B相

エンコーダ 供給電圧 DC24V
DC24V AB 相出力または NPNオープンコレクタ AB 相出力
タイプ 接続方法

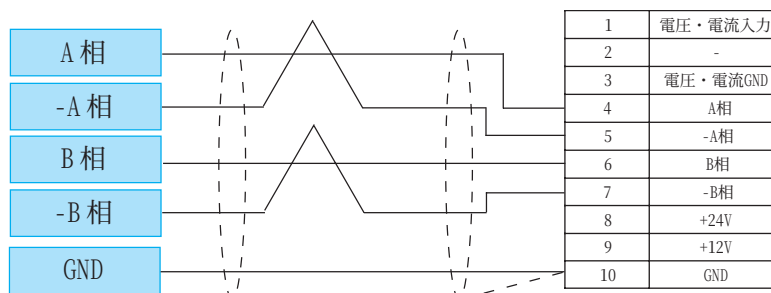


1	電圧・電流入力
2	-
3	電圧・電流GND
4	A相
5	-A相
6	B相
7	-B相
8	+24V
9	+12V
10	GND

弊社シリタ 35P-3,70/140P-8 コネクタ接続方法

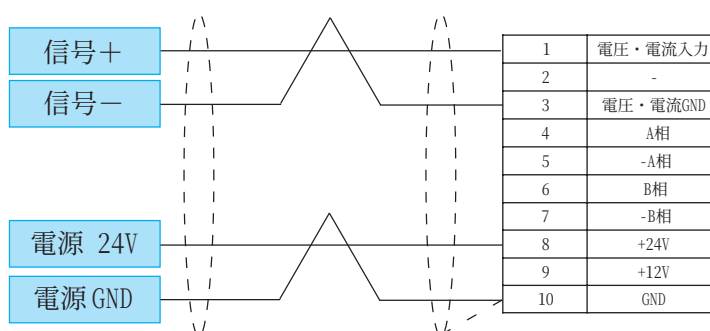
コネクタ番号	
1	+24V
2	GND
3	A相
4	B相

ライントライバ（差動）出力タイポ接続方法



2-4-2. プラグ測長センサ搭載機種

供給電圧 DC24V
DC0～10V(1～5V)出力またはDC4～20mA 出力
タイポ接続方法



弊社シソタ PTN-1B, PTH-1B, 140MT-3 コネクタ接続方法

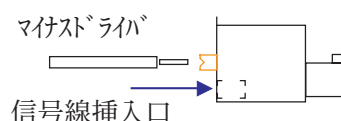
電圧出力タイポ		電流出力タイポ	
コネクタ番号		コネクタ番号	
1	+24V	1	+24V
2	GND	2	GND
3	信号(+)	3	信号(+)
4	信号(-)	4	信号(-)

弊社シソタ PSR-1A コネクタ接続方法

コネクタ番号	
1	+24V
2	GND
3	信号(-)
4	信号(+)

2-5. モニタ信号コネクタ CN2

ピン番号	内容	種類
1	Pout	アナログ出力
2	Vss	アナログ出力
3	A pulse	パルス出力
4	A pulse GND	パルス出力
5	B pulse	パルス出力
6	B pulse GND	パルス出力



プラグコネクタ外形図

1	2	3	4	5	6
---	---	---	---	---	---

プラグコネクタ前面より

プラグコネクタ配列

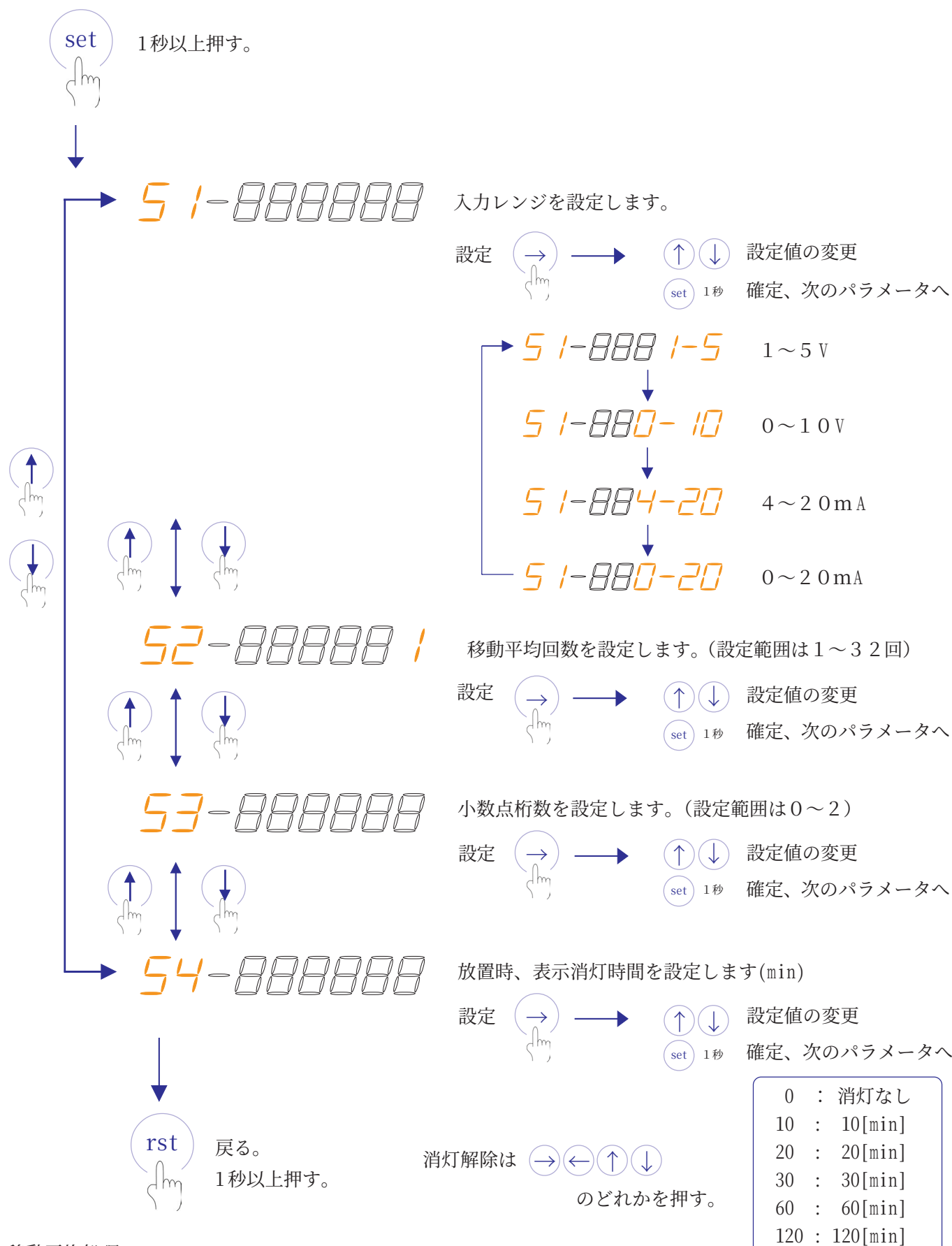
- ・本機のCN4コネクタからプラグコネクタを抜き、プラグコネクタ側に信号線を入れて使用します。柿色部分をマイクストライバで押せばスプリング式接続なので、電線挿入可能で解放すれば圧接固定されます。

⚠ 注意 / お願い

アナログ入力でパルス出力は出来ません。また、パルス入力でもアナログ出力も出来ません。

3. 設定モード (アナログ電圧電流タイプ)

3-1. 初期設定

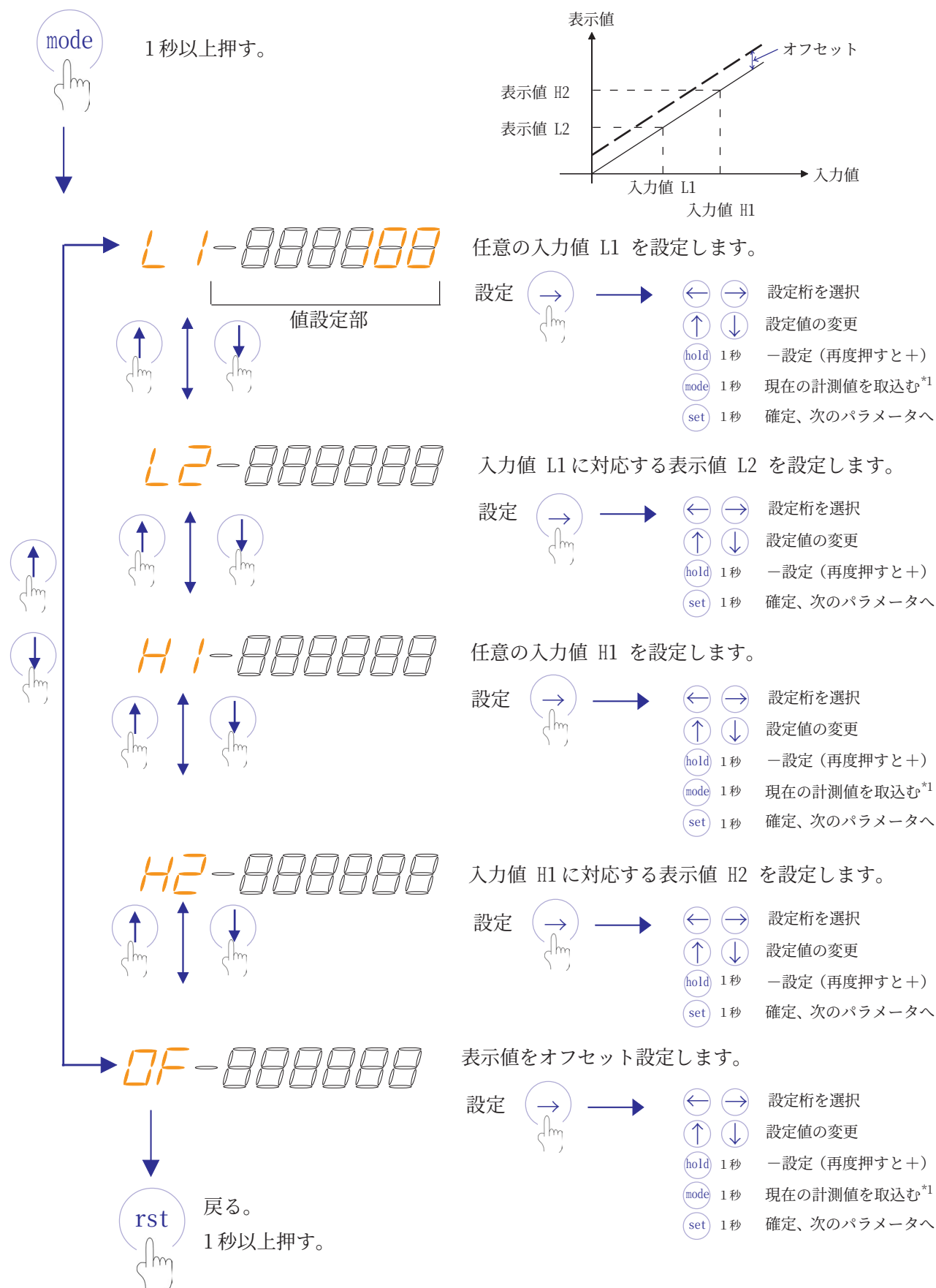


移動平均処理

計測値に対して平均化処理を行います。変動のあるアナログ入力を平均化処理して安定した表示にできます。

3-2. スケーリング値設定

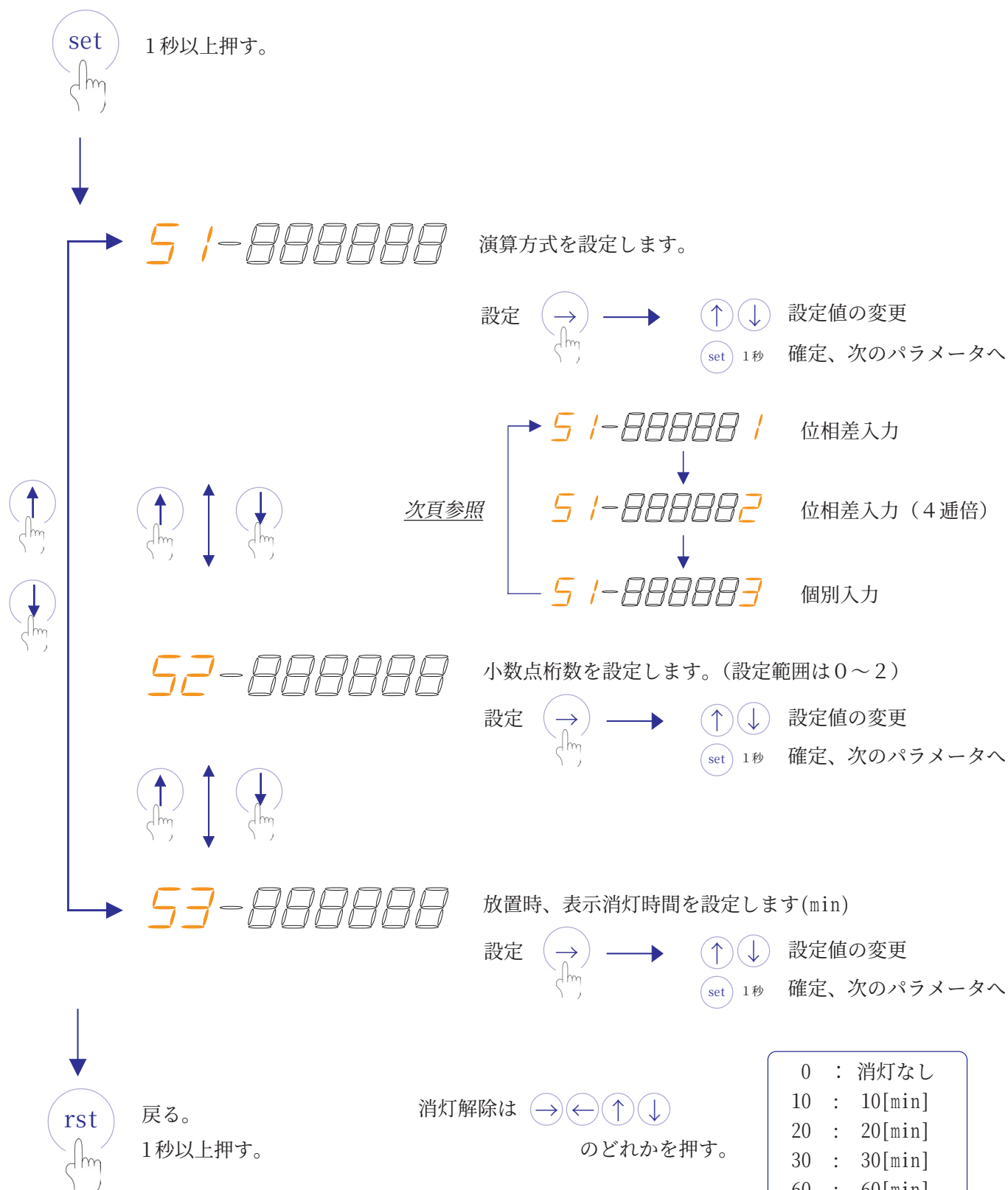
アナログ入力（電流・電圧入力）の場合、入力値に対応して任意の表示値に換算して表示できます。



*1 設定値を入力するかわりに、現在値を設定値として取り込む事ができます。

4. 設定モード (ハ°ルスタイフ°)

4-1. 初期設定

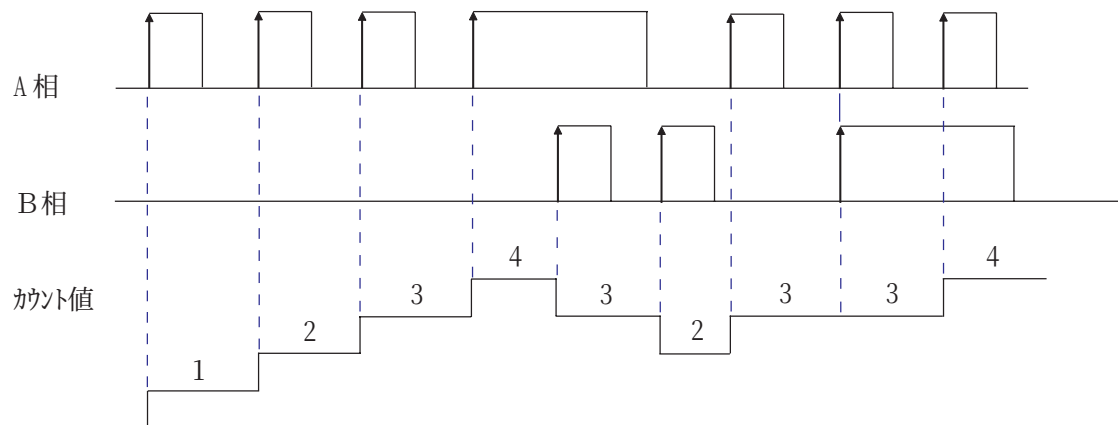


 注意 / お願い

初期設定時はハ°ルスカウント出来ません。

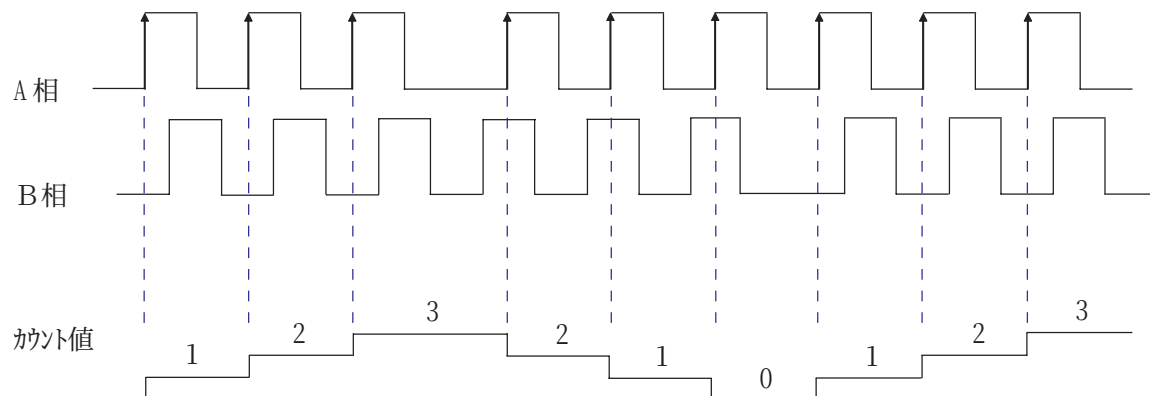
・ A相B相個別入力

A相・B相パルスの立ち上がりで、それぞれ個別にカウントし、A相でカウントアップ、B相でカウントダウンします。A・B相が同時に入力された場合はカウントされません。



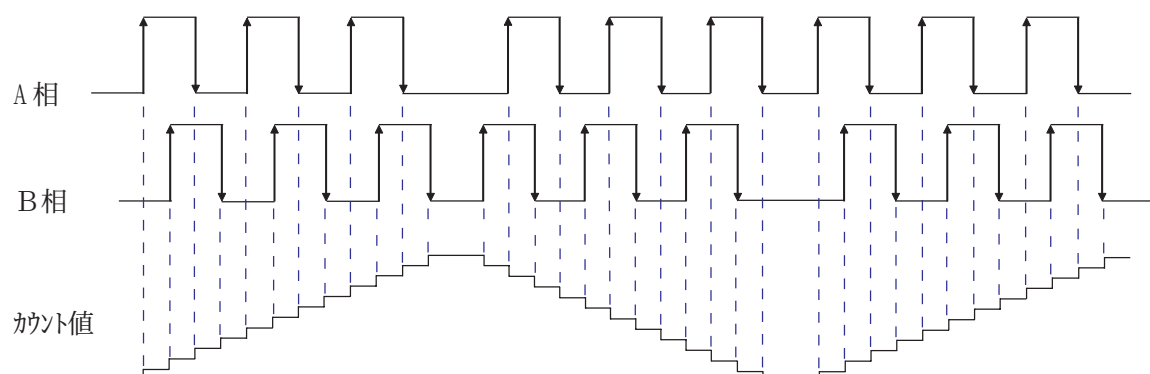
・ A相B相位相差入力

パルスで移動量を表すとき、1系統のパルスでは正方向も逆方向もパルスの山が出るため正確な現在位置を知ることは出来ません。そこで、2系統のパルスを用意して1つが移動量を検知するため、もう1つが方向を判別するために用いるのがA相B相位相差（90°位相差）方式です。

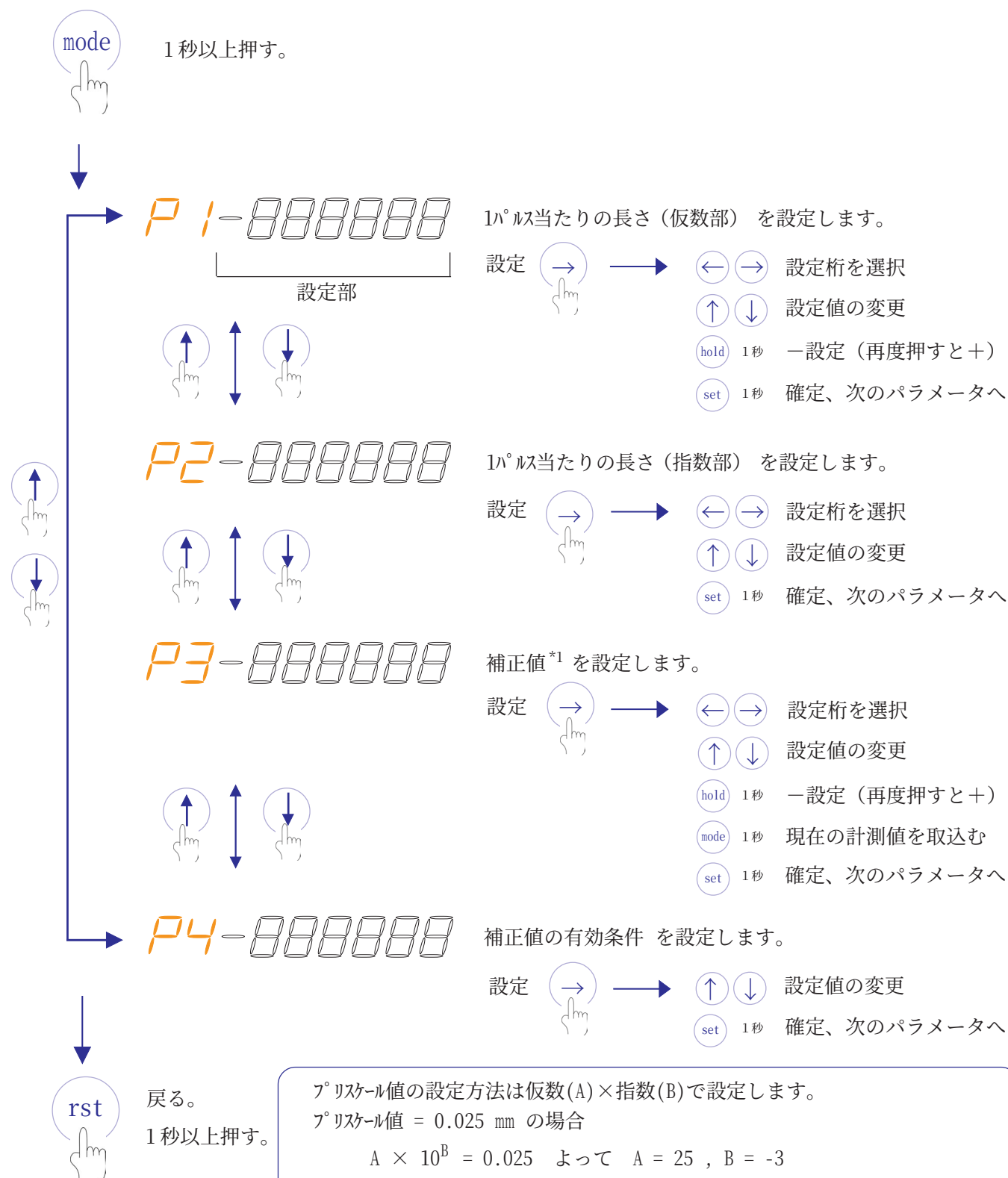


・ 4 通倍機能

通常1周期のパルスで1カウントするところを、1周期のパルスで4カウントすることにより分解能を4倍にする機能です。原理としてA相・B相パルスの立ち上がり立ち下りの時点で、それぞれカウントアップ（カウントダウン）します。



4-2. プリスケール値設定



プリスケール値の設定方法は仮数(A)×指数(B)で設定します。

プリスケール値 = 0.025 mm の場合

$$A \times 10^B = 0.025 \quad \text{よって} \quad A = 25, B = -3$$

(4通倍時はこの値を元に自動計算します。)

*1

補正信号がONになると、設定した補正值からカウントを開始します。位置補正に使用可能で、有効条件により補正機能を設定出来ます。

1：無効

2：全て有効

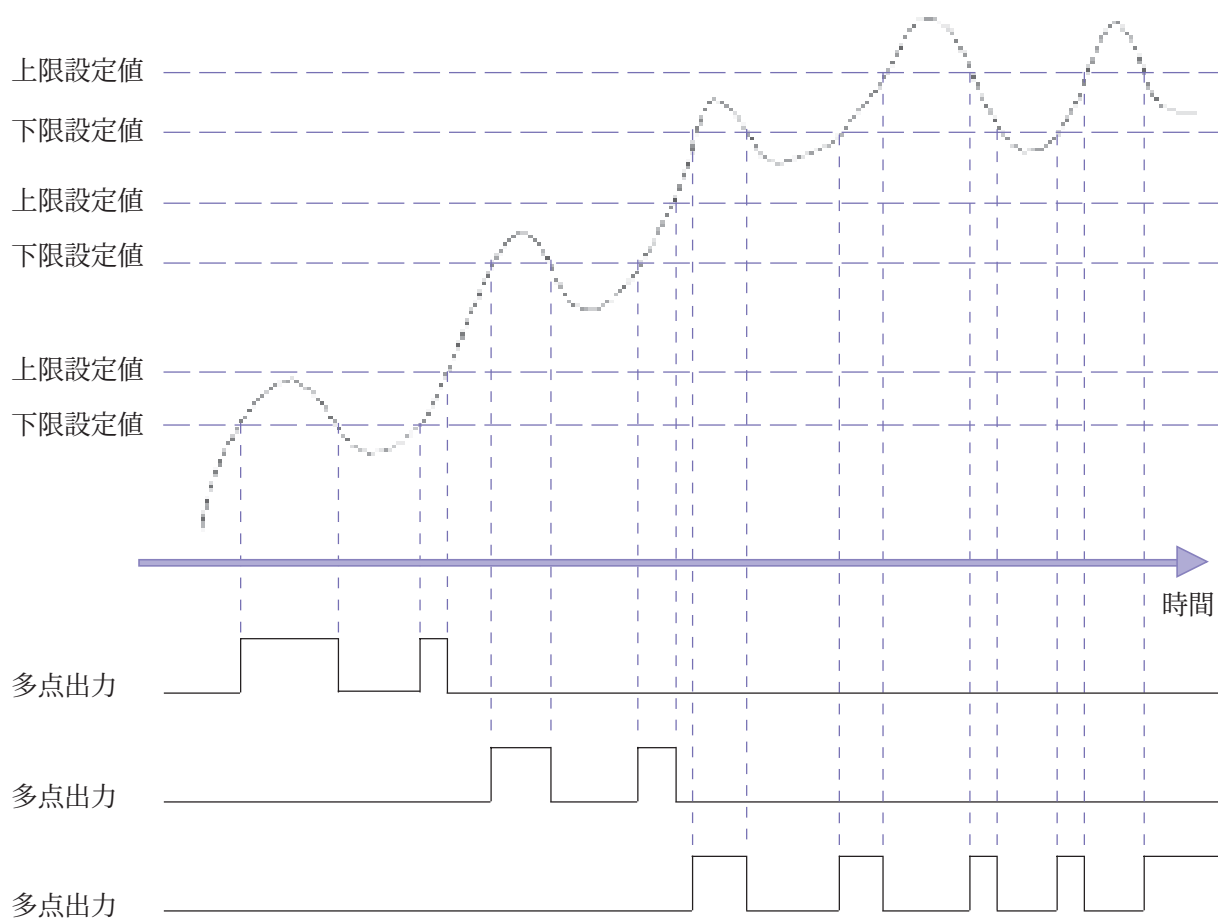
3：加算時のみ有効

4：減算時のみ有効

5. 多点機能

あらかじめ設定された上下限值と計測値とを比較して出力動作を行います。

(設定モード、多点設定時は出力動作は行いません。)



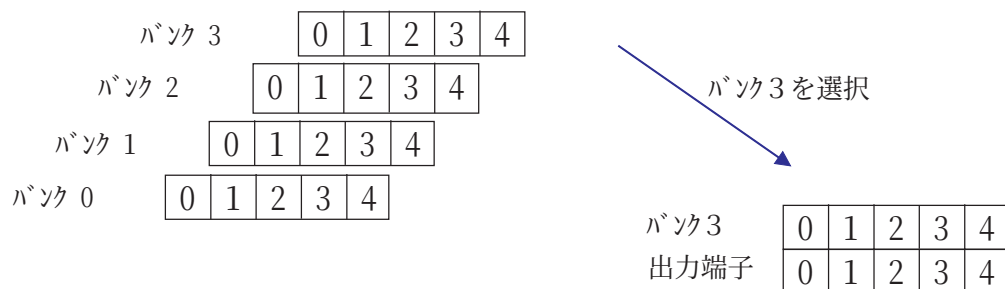
計測値が設定した上下限值内にあれば出力します。

上限値、下限値の設定が逆でも可能です。また、上下限值が同じ値であれば、その値になればONします。すべての設定値がゼロの場合は計測値がゼロになっていれば出力したままです。多点出力の最小出力時間は50 msecです。

memo

5-1.バンク

同時に出力(設定)可能な多点出力は5点ですが、その5点の設定値を1つのバンクとして最大3つのバンクを持ち、使用時に切り換えて使うことにより最大15種の多点出力(設定)が行えます。



たとえばバンク3を選択すれば、バンク3に設定した5点の上下限值に従って0～4の出力端子がON/OFFします。

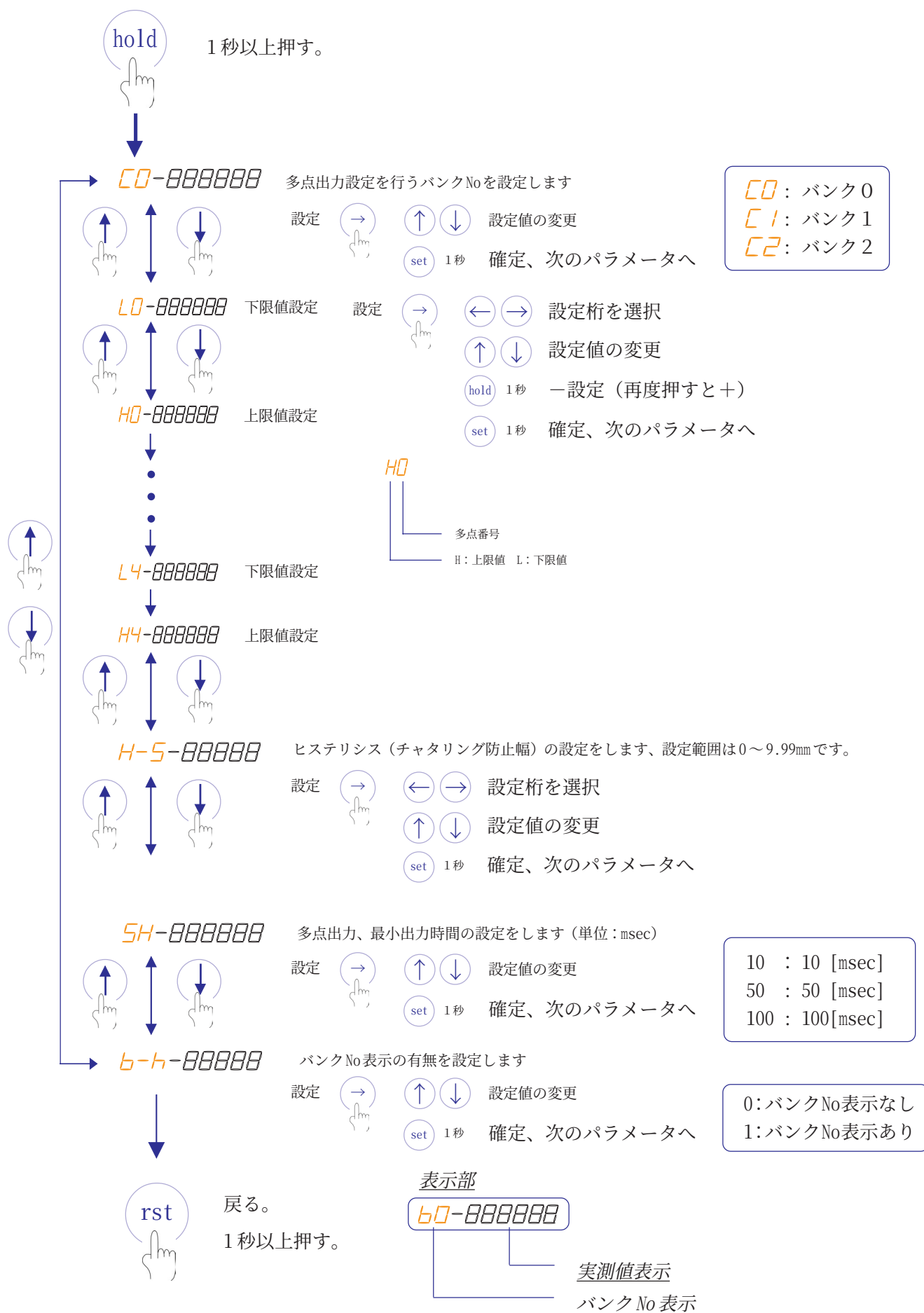
5-1-1.バンク切換

本機キー操作でバンク切換は出来ません、上位より、I/Oコネクタ(CN3)を使用してバンク切換します。

バンクNo/CN3.信号名	バンク切り換え0	バンク切り換え1	バンク切り換え2
0	ON or OFF	OFF	OFF
1	OFF	ON	OFF
2	OFF	OFF	ON

バンク切換0～2端子と入力コモン端子がショートされた状態をONとし、入力は無電圧接点入力、オープンコレクタ入力いずれも可能です。

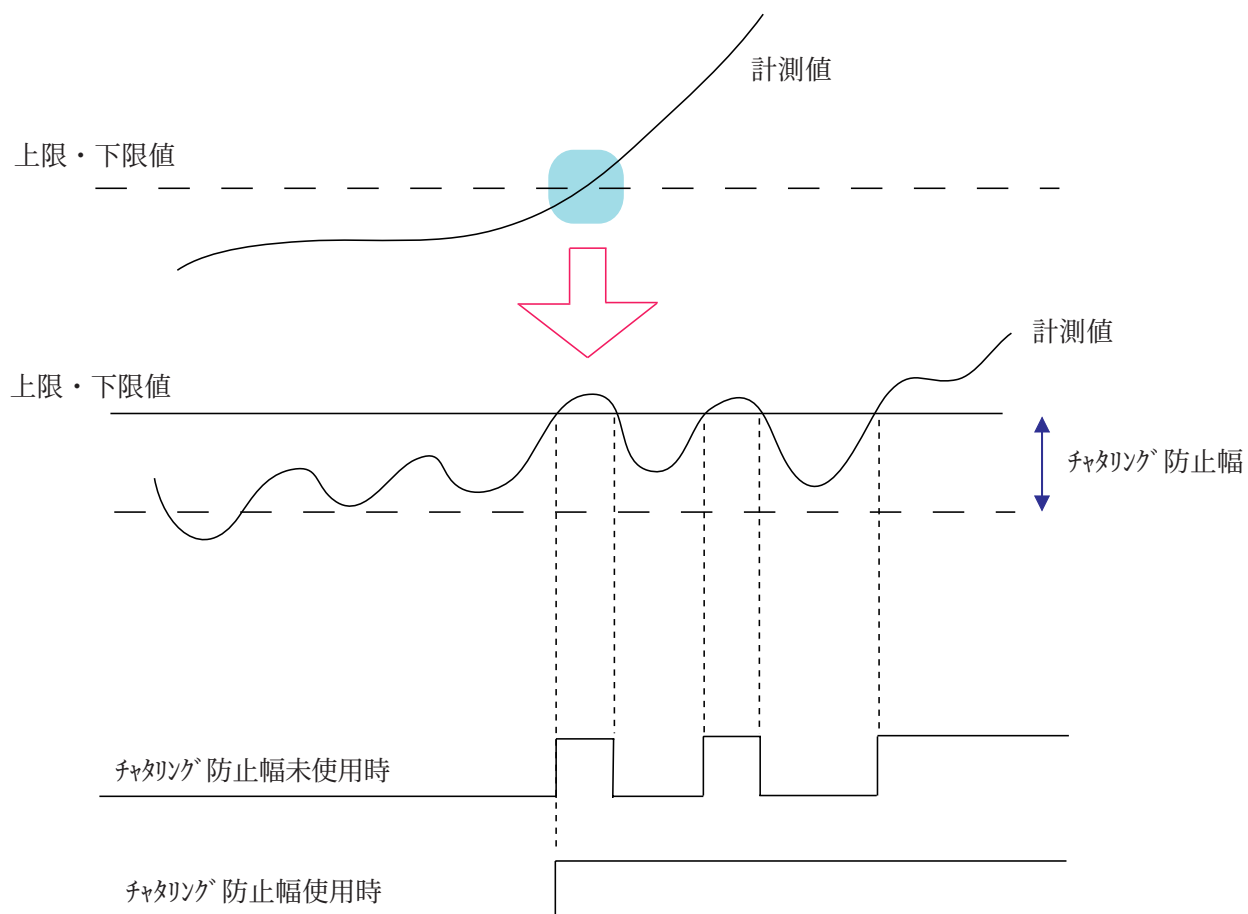
5-2. 多点値設定



5-3. チャタリング防止動作

多点出力時に、上限・下限値で ON・OFF するタイミングに一定の幅を設け、いったん ON・OFF すると一定幅以上の計測値の変化があってはじめて ON・OFF する動作です。上限・下限値付近での計測値のふらつきによるチャタリング防止に使用します。

・チャタリング防止幅の設定範囲は 0 ～ 9.99mm です。



6. 仕様、その他

6-1. 仕様

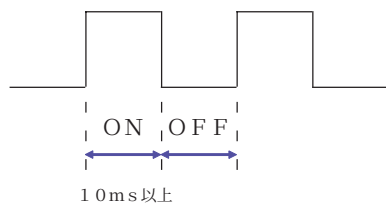
項目	内容
電源	DC24V $\pm$ 10%
電源容量	20VA以下
周囲温度	0 $\sim$ +50 $^{\circ}$ C(凍結不可)
周囲湿度	35 $\sim$ 85%RH(結露不可)
ノイズ耐量	電源ライン:AC1000V P-P 1 μ S方形波(ノイズシミュレータによる)
重量	約330g(コネクタ類含まず)
制御入力	フォトカプラーアイソレーション
制御出力	フォトカプラーオープンコレクタ出力
メモバックアップ機能	EEPROM
入力レンジ(計測範囲)	4 $\sim$ 20mA(0 $\sim$ 30mA) 1 $\sim$ 5V(0 $\sim$ 5.5V) 0 $\sim$ 10V(0 $\sim$ 10V)
入力絶対最大定格	$\pm$ 30mA(4 $\sim$ 20mA) $\pm$ 15V(0 $\sim$ 10V)
定格出力	DC50V以下、50mA以下(トランジスタ出力)
A/D変換方式	二重積分方式
サンプリング周期	1ms
表示可能範囲	-9999.99 $\sim$ 9999.99

⚠ 注意 / お願い

ハ°ルスカウント時、電源を切るとカウント値はゼロから開始します。

6-2. 最低入力時間

各端子への最低入力時間は、10ms 以上としてください。



6-3. 適合コネクタ

電源接続コネクタ(CN1)

メーカ: フェニックスコンタクト 製 型式: FK-MC0.5/3-ST-2.5

センサ接続コネクタ(CN2)

メーカ: フェニックスコンタクト 製 型式: FK-MC0.5/3-ST-2.5

モニター信号接続コネクタ(CN3)

メーカ: フェニックスコンタクト 製 型式: FK-MC0.5/3-ST-2.5

I/O 接続コネクタ(CN4)

IEEE1284 ハーフピッチオスコネクタ

ケーブルセット TAIYO 型式: PQCPA-IO (5m のみ)

6-4. 正しくお使いください

■接続について

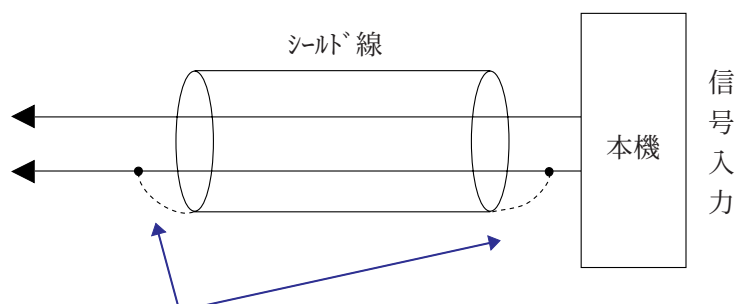
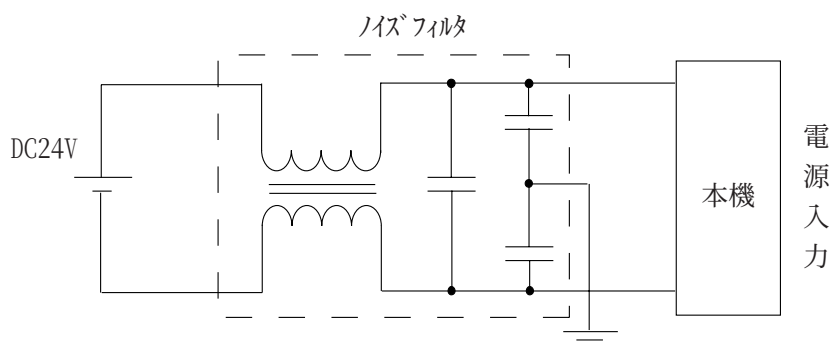
- 本機への供給電源に大きなノイズがのっている場合には誤動作の原因となります。専用電源、ノイズカットリッス等をご利用ください。
- 高圧線や動力線と本機の入出力線などを同一配管されますと誤動作の原因となります、必ず単独配管としてください。
- 取付線は、誤動作の原因とならないように確実に取り付けてください。

■接地について

- 本機のフレームグラント® (FG) は強電アースと共用しないで、単独に第3種接地を行ってください。

■ノイズ対策について

- 誘導ノイズを防止するために、本機への配線は、動力線とは分離して配線して下さい。また平行配線も避けて下さい。配管を別にしたりシールド線の使用も効果があります。
- 電源にノイズフィルタ等を使用する場合は、電圧・電流を確認の上、本機に出来るだけ近い位置に取り付けて下さい。
- 強い高周波を発生する機械やサージを発生する機器から、出来るだけ離して設置して下さい。
- ノイズを発生している機器（モータ、モータドライバ、トランス、リリットなど）にはサージアブソーバやノイズフィルタを取り付けるなどの対策をして下さい。



シールド線は、ノイズの状況に合わせて効果のある方に接続

6-5. 保証とアフターサービス

■保証期間について

本機は、厳重な社内検査に合格した製品です。ご購入日から1年間は、弊社の製造上の問題に起因することが明らかな故障については、無償で修理もしくは製品を交換いたします。

■保証期間後の修理について

修理により機能が維持できる場合は、有償修理いたします。

■サービスを依頼される時

保証期間の内外に関わらず、製品名と製造番号、ならびにできるだけ詳しい故障内容を、弊社営業部またはお買上げいただきました弊社代理店までお知らせください。

7. 異常と対策

症状	対策
値が表示しない	0表示 : 入力配線されているか？ 表示なし : 電源が入っているか？ CPU異常の可能性はないか電源を再投入する O Err 表示 : オーバーエラー 表示値が9999.99を超えています U Err 表示 : アンダーエラー 表示値が-9999.99を超えています ±9999.99の範囲内で表示させてください E Err 表示 : EEPROM書き込みエラー CPU異常の可能性はないか電源を再投入する
動作しない	CPU異常の可能性はないか電源を再投入する
誤作動する	ノイズの可能性はないか動力線と信号線は別系統で配線されているか？
値が安定しない	コネクタが接続不良ではないか？



注意

- ・ 異常発生時は原因を取り除き安全を確保してから再運転してください、けがの原因になります。
- ・ パラメータの極端な調整・変更は動作が不安定になりますので、決して行わないでください。

営業所一覧

■東部ブロック

東京営業所 〒105-0021 東京都港区東新橋1-1-21(今朝ビル)
TEL:(03)5568-5621(代) FAX:(03)5568-5632
札幌営業所 〒065-0033 札幌市東区北33条東13丁目3-43(第2エクセルナガタビル)
TEL:(011)722-4555(代) FAX:(011)722-4550
仙台営業所 〒984-0048 仙台市若林区白萩町37-25(センチュリー白萩1F)
TEL:(022)238-1818(代) FAX:(022)239-4486
新潟営業所 〒950-0855 新潟市江南2-6-2(コーポ野沢A号)
TEL:(025)287-8071(代) FAX:(025)287-8077
太田営業所 〒373-0806 群馬県太田市龍舞町1670-6
TEL:(0276)46-5131(代) FAX:(0276)46-1164
大宮営業所 〒330-0804 埼玉県さいたま市大宮区堀の内町3-317-4
TEL:(048)645-5571(代) FAX:(048)645-5570
柏営業所 〒277-0843 千葉県柏市明原1-2-10(リブラビル302)
TEL:(04)7199-5171(代) FAX:(04)7147-5511
海老名営業所 〒243-0417 神奈川県海老名市本郷469-3
TEL:(046)238-5477(代) FAX:(046)238-3501
上田営業所 〒386-0027 長野県上田市常磐城4-4-23(Y.J.Mビル)
TEL:(0268)26-7722(代) FAX:(0268)26-7725
甲府営業所 〒400-0027 山梨県甲府市富士見1-3-25(町田ビル1F)
TEL:(055)254-0750(代) FAX:(055)254-0760

■中部ブロック

名古屋営業所 〒453-0018 名古屋市中村区佐古前町22-13(森ビル)
TEL:(052)482-1100(代) FAX:(052)482-6352
静岡営業所 〒422-8035 静岡市宮竹1-15-10(オフィスプレステージ1F)
TEL:(054)237-5067(代) FAX:(054)237-5068
金沢営業所 〒920-0348 金沢市松村6-133
TEL:(076)268-5100(代) FAX:(076)268-5101
豊田営業所 〒471-0037 豊田市三軒町8丁目17-3
TEL:(0565)33-7170(代) FAX:(0565)33-8255

■近畿ブロック

大阪営業所 〒533-0002 大阪市東淀川区北江口1-1-1
TEL:(06)6349-1234(代) FAX:(06)6349-7021
京都営業所 〒612-8414 京都市伏見区竹田段ノ川原町28-1(竹田駅前第1ビル2F)
TEL:(075)647-1177(代) FAX:(075)647-1116
加古川営業所 〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家149-7(パレードビル302)
TEL:(0794)20-8021(代) FAX:(0794)20-8023
岡山営業所 〒701-0221 岡山市辰巳2-106(トーナン北ビル)
TEL:(086)246-7221(代) FAX:(086)246-7457
高松営業所 〒761-8073 香川県高松市太田下町2612-1(OBKビル)
TEL:(087)815-3456(代) FAX:(087)815-3457

■西部ブロック

広島営業所 〒730-0043 広島市中区富士見町2-21(西村ビル)
TEL:(082)243-3373 FAX:(082)245-0069
福岡営業所 〒812-0015 福岡市博多区山王1-1-15(ローズマンション山王1F)
TEL:(092)452-3101 FAX:(092)452-3107
熊本営業所 〒869-1101 熊本県菊池郡菊陽町大字久礼332-3(グランヴィーゼKII102号)
TEL:(096)213-5711 FAX:(096)213-5712

■海外セクション

東京 〒105-0021 東京都港区東新橋1-1-21(今朝ビル)
TEL:(03)5568-6231 FAX:(03)5568-6237
大阪 〒533-0002 大阪市東淀川区北江口1-1-1
TEL:(06)6340-3090 FAX:(06)6340-9508

●商品についてのお問い合わせ

CONTACT CENTER

E-mail: contact@taiyo-ltd.co.jp

Phone: (06)6340-1108

URL: <http://www.taiyo-ltd.co.jp>

太陽鉄工株式会社

〒533-0002 大阪市東淀川区北江口1-1-1

URL:<http://www.taiyo-ltd.co.jp>

仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

H17.08